

マルメ研修 感想文

はなえみ歯科 平田まどか（第46期オーラルフィジシャンセミナー修了）

高校時代は音楽に興味を持ち、その後は北欧雑貨やファッション。歯科医を志してからは予防の先進国として、いつも私を魅了し続ける国スウェーデンは憧れの地でした。特にオーラルフィジシャンを志してからはその興味は強まる一方でした。

11時間のフライトと時差ぼけの中、朝から夕方までの学生時代以来の講義に、正直自信はありませんでしたが、講師陣の魅力溢れるレクチャーと素晴らしい通訳の方々のおかげもあり、非常に有意義な時間を過ごすことが出来ました。

スウェーデンは想像通り、建物や家具は洗練され、人はとても親切で、文化的な印象の国でした。

スウェーデンには国民の口腔健康増進のために良く考えられたシステムが存在し、更に発展しようとしていました。医療従事者が患者さんの真の健康の為に努力し、その能力を発揮する環境が整えられていましたし、患者さんも自然と予防に向かうことができる。そんなシステムでした。羨ましいと同時に、日本の歯科医療の現状はとても深刻だと感じました。

講師陣のレクチャーはワールドスタンダードで、エビデンスに基づいたものでした。歯を残す為、健康増進の為に、努力を惜しまない姿勢に感銘を受けました。歯が残せる方法が解っていて、その価値を知らながら、従来の治療に戻る事は出来ないと思いましたが、彼らの姿勢を見習いたいと思いました。

日本はシステムが違いますから、今の日本でできる事はやはり今取り組んでいるMTMを形にする事だと思います。

この研修では志を高く持たれている沢山の仲間に出会う事が出来ました。これから日本も変わっていくのではないかとワクワクするような感覚もありました。

最後に、この研修で最も心に残った言葉は形を真似するのだけではなく、その奥に哲学を持たなければいけないという言葉です。

日々の診療に新たな課題が出来、心地よい刺激をうけた一週間でした。研修に携わって下さった方々に感謝いたします。ありがとうございました。